

令和6年度「HAKONE大学」 開講日程表
 ～「箱根の近代化と向き合う地域の人々」について学ぶ～

No	開講日	講義名・講師	内容	備考
1	12/10(火)	開講式（オリエンテーション） 「道路開発をめぐる町村の動きと人々 ―箱根山の大動脈開鑿と近代化」 講師：生涯学習課郷土資料館 鈴木康弘館長	ー 現在の箱根の大動脈である国道1号と138号の開鑿は、当時の町村の連携による近代化に向けた第一歩となる事業であった。この一連の動きを通して地域の人々の近代化へのまなざしを学びます。	社会教育センター
2	12/17(火)	「旅館組合の結成と温泉観光地の発展」 講師：生涯学習課郷土資料館 鈴木康弘館長	明治29年の箱根温泉宿組合結成までの経緯と組合の動きを通して、発展しつつあった旅館業界が地域的な連携に向けて結集し、営業の秩序を保ちながら新しい時代に対応していく取り組みを学びます。	社会教育センター
3	1/15(水)	「国際観光地箱根をめぐる外客誘致の動き」 講師：生涯学習課郷土資料館長 鈴木康弘館長	箱根は幕末の開国以来早くから避暑保養地として人気を博し、今日の国際観光地の出発点となりました。その歴史について、まさに原動力ともいえる箱根の外国人観光客への「おもてなし」と、民間実業家らの外客誘致の動きの両面から学びます。	社会教育センター
4	1/28(火)	「箱根物産業界の近代 ―内国博覧会と箱根の職人」 講師：生涯学習課郷土資料館 鈴木康弘館長	江戸時代に街道土産、湯治土産として人気を博した箱根物産が、明治以降に技術革新や輸出をにらんだ工芸品志向など、近代化の中で新たな動きをみせ、日本を代表する伝統的工芸品へと発展していく歴史について学びます。	社会教育センター

5	2/13(木)	「関東大震災と箱根復興会」 講師：生涯学習課郷土資料館 鈴木康弘館長	関東大震災は、歓呼地としての発展を遂げつつあった箱根に大きな被害を与えました。その状況と復興に向けた動きの中で、全山的な組織として誕生した箱根復興会の事業について学びます。	社会教育センター
6	2/27(木)	「箱根振興会の結成と国立公園箱根の誕生」 講師：生涯学習課郷土資料館 鈴木康弘館長	全山的な組織として箱根復興会を引き継いだ箱根振興会は、観光地箱根の発展のための諸事業を展開するとともに、箱根の国立公園指定を目指して尽力する。当時の観光事情と合わせ、箱根の人々の観光地発展に向けた取り組みを学びます。	社会教育センター
		閉講式（修了証交付）	（修了証は4回以上出席者に交付）	

※開講時間は全日程とも概ね午後2時から4時までとします。